地域包括ケア病棟で初の運動会

城西病院の地域包括ケア病棟で 10 月 22 日、レクリエーションとして初めての運動会が行われました。運動会には、約 30 人の患者さまが参加しました。事前に患者さまが、日本の国旗を作って、それを病棟に飾り付けて、運動会気分を盛り上げました。

当日は、患者さま代表の「早く自宅に戻れるようにかんばります」と力強い選手宣誓に続いて開幕。『365 歩のマーチ』に合わせて、準備体操を行いました。

競技は、「玉入れ」や「たすきリレー」、「サイコロでポン」を楽しみました。患者さまは元気に競技に取り組み、笑顔で運動会を過ごしました。

365 歩のマーチに合わせて元気に準備体操

笑いと一緒に真剣にプレー

元気いっぱいの選手宣誓

◇◇

地域包括ケア病棟は、2014 年から設けられた新しいタイプの病棟です。従来は、入院された患者さまが治療を終えて病状が安定すると、すぐに退院となるのが通例でした。しかし、在宅などでの生活などに不安を感じる方も少なくなく、医師や看護師、リハビリなどの専門家によって在宅のために心身共にケアをするとともに、地域ぐるみで患者さまを見守っていくために設けられた病棟です。

城西病院では 2020 年に病床 30 で地域包括ケア病棟を開設しました。急性期病棟などで治療を終え、自宅に戻っての生活に不安を感じる方などを受け入れます。病棟では、理学療法士や作業療法士などによるリハビリが行われるほか、トイレや歩行など日常生活の動作を看護師が行っていきます。患者さまはこうしたリハビリや日常生活訓練を行い、自宅などで受け入れ体制を整え退院します。

2020 年 11 月 16 日

©Tasseido group